



2019年6月25日(火)  
あいちトリエンナーレ実行委員会事務局  
事業第一グループ  
担当：小柳津、竹内、小林  
電話：052-971-6127 (ダイヤルイン)  
県庁内線 724-682、724-684

## 「あいちトリエンナーレ 2019」現代美術作品第1号を設置します！ ～トルコのアーティストが円頓寺商店街・円頓寺本町商店街を珊瑚色に染めます～

「あいちトリエンナーレ 2019」(会期：8月1日(木)～10月14日(日・祝))の開幕に先がけ、新たに会場となる四間道・円頓寺地区の円頓寺商店街・円頓寺本町商店街のアーケードに、トルコ出身のアーティスト、アイシェ・エルクメンの新作を設置します。

円頓寺商店街と円頓寺本町商店街は、七夕祭りの装飾のため、アーケードの下に無数のロープが垂れ下がっているのが一つの特徴。アイシェ・エルクメンは、このロープを2019年のパントン・カラー・オブ・ザ・イヤーとなったLiving Coral(珊瑚色)に染めることだけで、普段から見慣れた商店街の風景を一変させます。

今回の作品が「あいちトリエンナーレ 2019」展示作品の第1号となります。

### 1 概要

#### (1) 設置作業日時

2019年6月28日(金) 午前9時30分～午後5時頃の間

2019年6月29日(土) 同上

#### (2) 設置場所

円頓寺商店街・円頓寺本町商店街のアーケード下(名古屋市西区那古野)

#### (3) 設置する作品

- ・作品名：未定
- ・円頓寺商店街・円頓寺本町商店街のアーケードの下のロープを、順次、珊瑚色のロープに付け替えていきます。
- ・なお本作品は、今回のロープだけでなく、別の場所でも商店街を珊瑚色に染めていく予定です。

#### (4) その他

今回のロープの付替えに際して、作家の来日、立ち会いはありません。



<イメージ画像>

## 2 アイシェ・エルクメンの略歴

1949年イスタンブール（トルコ）生まれ。ベルリン（ドイツ）拠点。その場所に秘められた文脈を読み解き、ものを一時的に移動するなどシンプルな仕掛けを施して作品化することに長けている。ミュンスター彫刻プロジェクト 2017 では、商業地区と工業地区を分断している運河に水上輸送用のコンテナを沈めることで、水の上という「普段は越えることのできない溝」を観客が歩いて渡れる状況を生み出した。また 2011 年の第 54 回ヴェネツィア・ビエンナーレでは、すぐ脇の水路からポンプで海水を汲み上げ、展示空間内に設置された水道管を用い「水の都」の水を濾過した。紛争地域で飲料水を確保するために開発されたドイツの浄化技術を使用しており、内と外、海水と浄水、国家間の技術の格差などを意識させるものであった。

## 3 取材について

作品設置作業の様子等の取材を希望される場合は、6月28日（金）午後3時までに、社名、取材時間、担当者名、連絡先（携帯番号）を、あいちトリエンナーレ実行委員会事務局まで電話又は電子メールにて御連絡ください。

## 4 問合せ先

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 事業第一グループ

担当：小柳津、竹内、小林

住所：〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2 愛知芸術文化センター6階  
(愛知県県民文化局文化部文化芸術課トリエンナーレ推進室内)

電話：052-971-6127

FAX：052-971-6115

URL：<http://aichitriennale.jp/>

E-Mail：[triennale@pref.aichi.lg.jp](mailto:triennale@pref.aichi.lg.jp)

### 「あいちトリエンナーレ2019」概要

テーマ：情の時代 Taming Y/Our Passion

会期：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

芸術監督：津田大介 ジャーナリスト／メディア・アクティビスト

会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか（四間道・円頓寺）、豊田市（豊田市美術館及び豊田市駅周辺）

内容：あいちトリエンナーレは、2010年から3年ごとに開催する国内最大規模の国際芸術祭。4回目となる今回は、国内外から80組以上のアーティストを迎え、国際現代美術展のほか、映像プログラム、パフォーマンスアーツ、音楽プログラムなど様々な表現を横断する、最先端の芸術作品を紹介。